

▶ 現地指導方法（対策マップ作成）



▶ 現地指導方法（設置ルートの検討）



▶ 現地指導方法（防護柵設置管理）



▶ 対策効果検証と人材活用の事例

島原振興局管内の取組

（島原半島地域野生鳥獣被害防止対策協議会）

○ イノシシ対策A級イノストラクター向けの事前勉強会

対象者 96名

- ・イノシシ被害対策に係る知識等の再点検
- ・チーム分けと分担地域の設定

16班 367地区

①管理状況調査

- ・事業実施代表者へのアンケート*等の調査
※防護対策管理チェック表

②現地調査

- ・イノシシ対策A級イノストラクターによる現地巡回調査

67地区

③集落座談会

- ・対策および指導が必要な地区を対象とした集落指導 1地区*

※1地区のみであったため、他地域にも呼びかけて**集落交流会**を開催

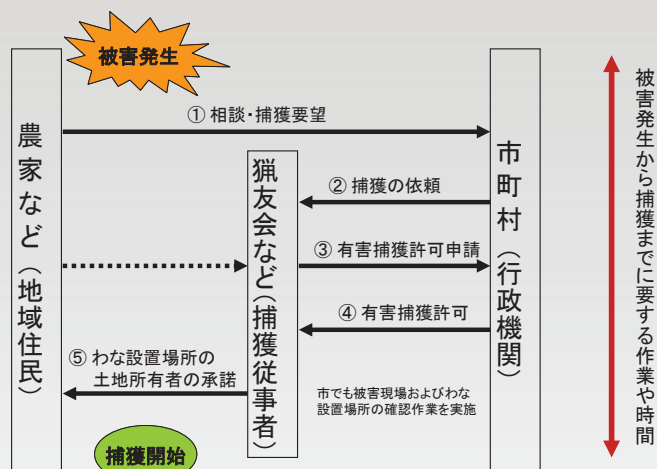


九州初の農林水産大臣賞受賞 ～鳥獣被害対策優良活動表彰（H27）～

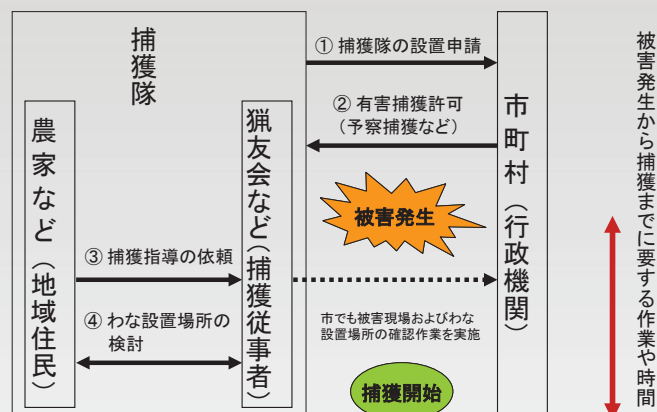


▶ 捕獲隊(旧1303特区制度)の推進

〈捕獲隊がない場合〉



〈捕獲隊がある場合〉



- 有害鳥獣捕獲許可の申請、許可証の発行
- 捕獲従事者と地元との連絡、調整